

「北空知」川づくり懇談会 ニュース 第1号

平成17年8月29日、平成17年度第1回「北空知」川づくり懇談会を開催しました。



■第1回「北空知」川づくり懇談会の様子

第1回 「北空知」川づくり懇談会を、以下のとおり開催しました。

日時：平成17年8月29日（月）

13:30～16:00

場所：妹背牛町 コミュニティプラザ

長田樋門地点、深川芽生樋門地点

当日は、委員13名（代理出席2名含む）が出席しました。座長挨拶の後、事務局より平成17年度北空知河川事業所の事業概要の説明と石狩川流域委員会についての情報提供がありました。

次に、第1回懇談会のテーマである「旧川の保全と利用について」の説明が事務局からあった後、石狩川堤外旧川（長田樋門地点、深川芽生樋門地点）の現地見学を行いました。

その後、妹背牛町コミュニティプラザに戻り各委員の方々による意見交換を行いました。

現地見学箇所位置図



「北空知」川づくり懇談会の委員（五十音順）

- 一宮 克彦（深川青年会議所前理事長）
- 植田 顕治（秩父別町山川草木を育てる会副会長）
- 小林 四郎（幌加内町そば活性化協議会事務局長）
- 佐々木 新一（深川土地改良区参事）
- 高島 光雄（雨竜町みどり少年団長）
- 波連 賢司（深川野鳥の会）
- 前林 哲夫（前妹背牛町議会議員）（★副座長）
- 渡辺 正夫（沼田奔川河川改修事業整備促進期成会会長）

行政担当者

- 小鍛冶 和照（妹背牛町 建設課統括官）
- 扇谷 政美（北竜町 建設課長）
- 田湯 俊博（雨竜町 産業建設課技術長）
- 戸田 保（秩父別町 建設課長）
- 村端 裕（深川市 都市建設課長）
- 神 憲彦（沼田町 建設課長）
- 道添 良則（幌加内町 建設課長）

河川管理者

- 関田 透（北空知河川事業所長）（★座長）

オブザーバー

- 高花 建治（札幌土木現業所 深川出張所長）
- 大友 富美男（空知支庁 北部耕地出張所長）

第1回懇談会での主な意見

■ 各委員からの主な意見は以下の通りです。

- ・ 長田樋門地点の旧川は道路が整備されているので車が入って来ることができ、水辺に親しむことが出来ると思う。



■長田樋門付近の様子

- ・ 長田樋門でサギを見かけたが、末永く旧川を利用していくためには、魚類調査以外に鳥類調査も実施すべきだと思う。

- ・ 長田樋門地点では、施工後は河岸の樹木が少ないように思う。

- ・ 石狩川の河岸にクルミの木があり実がなっていたが、子供たちが喜ぶと思うので、このような木は極力残してほしい。



■長田樋門付近の様子

- ・ 現地で旧川が復元されているのを見て安堵感を覚えた。

- ・ 旧川のヨシ、アシ等により水質が浄化されていると思う。

- ・ 最近、子供たちに危険だから水辺で遊ばせないようにしているが、実際に水に触れさせて子供たちに考えさせるように親が指導していくべきだと思う。

- ・ ヤナギなどは自然に復元すると思うが、生態系の復元には時間がかかると思う。

- ・ 旧川の周辺には大きな木もあったので、それらの木は残したほうが良いと思う。

- ・ 河川のあるべき姿としてある程度の木が生えていて、水が流れている状況が良いと思う。



■長田樋門付近の様子

- ・ 旧川部で魚釣りやボート遊びなどが出来れば良いと思う。

- ・ 旧川の復元には長い期間がかかると思う。今後より良く旧川を利用していくためにも組織を作って検討していくべきだと思う。



■深川芽生樋門付近の様子

- ・ 今日見た旧川は、木、草、水があり野鳥にとって好ましい環境だと思う。

- ・ 景観という視点からも樹木を極力残す必要があると思う。



■深川芽生樋門付近見学の様子

- ・ 野球のバットとして利用できるアオダモ等の植樹を行うのもよいと思う。

- ・ 自然保護や環境保全から考えても樹木が必要だと思う。

- ・ 旧川は今後も残していかななくてはならないと思う。

第2回 懇談会のお知らせ

第2回懇談会は、公開で行いどなたでも傍聴できます。

開催日が決まりましたら、以下の場所に開催案内を提示します。

- 市町の揭示板
 - 北空知河川事業所の揭示板
- 是非ご来場下さい。

ご意見やお問い合わせは、事務局
 石狩川開発建設部 北空知河川事業所
 〒097-0502 雨竜郡妹背牛町字妹背牛 482-1
 TEL 0164-32-2470
 FAX 0164-32-3449
 まで、お気軽にお寄せ下さい